「令和8年度 大学スポーツ総合支援事業」企画提案書（事業概要資料）

③大学スポーツによる地域振興等の推進事業［地域課題解決型］

大学名	帝京大学

実施計画名	AIと大学生が一人暮らし高齢者をウェルビーイングに導く運動コンシェルジュ事業
事業概要	**①大学生運動コンシェルジュの養成** 帝京大学、慶應義塾大学、ZEN大学の学生を対象に、高齢者支援や運動支援に関する研修を実施する。 **②孤独・孤立高齢者への伴走支援** 大学生が高齢者の話し相手となり、「私は私でよい」と感じられる自己創出とウェルビーイング向上を支援する。 さらに、散歩、軽スポーツ（モルック、ボッチャ等）、地域イベント等への参加を個別提案し、伴走支援を行う。 **③対話型AIによる大学生と高齢者の橋渡し、ウェルビーイング評価**

■対象地域が抱える課題

対象地域	八王子市M団地

本事業のフィールドであるM団地では、高齢化の進行に加え、住民の転出入の増加に伴い、**住民同士のつながりが希薄化**している。
そのことが孤立状態にある高齢者の状況をさらに悪化させている。
さらに、M団地周辺には**多様な運動資源が存在しているにもかかわらず、それらを結び付ける担い手が不足している。**

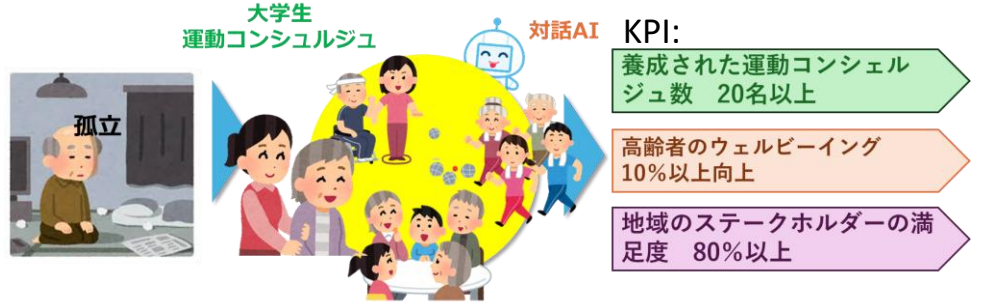
■活用する大学スポーツ資源

①人的資源：帝京大学、慶應義塾大学、ZEN大学の学生
②知的資源：運動コンシェルジュ養成プログラム、対話AIの開発ならびに運用に関するノウハウ

■主な参加者･想定人数

区分	内容	人数
管理者	帝京大学教職員	10名
運営スタッフ	運動部学生･一般学生	25名
協力団体	八王子南大沢保健福祉センター	3名
	松ケ谷ふらっとシルバー相談室	3名
	株式会社べるつりー	5名

■期待される事業効果



■事業の実施体制図（学内体制に留まらず、地域の組織･団体との連携体制も示すこと）

